

## 地域づくりは

## 人づくりから



酒匂 守議員

酒匂 守議員 まちづくりにより成功した町村の例に、そこに優れたリーダー、優れた人材がいたためという例が多くある。しかし、人的要因だけが地域おこしの推進を決定づける要件であるだろうか。要はその地域が持っている潜在的な発展の可能性、技法である。みんなのアイデアを出し合い、その発展の可能性、技法を研究開発する、やる気を起こすことこそが、地域づくりの基本と考える。それを為すのは人であり、企業は人なりで、人材育成が重要な課題であると思うが、その対策は、

### 第四次総合

### 振興計画で

北村町長 平成十三年度を初

年度とする「第四次総合振興計画」の基本計画のなかで、町民実習運動推進事業として、「町民と行政との協働による人づくり、地域づくり」に取り組んでいるところだ。

酒匂議員 主な事業の取り組みは

### 地域活動支援事業で

町長 「みやのじよう未来フオーラム」や「地域活動支援事業」が代表的な事業で、これによって本町独自の人材育成と地域づくりを支援している。

酒匂議員 行政と民間有識者、また、団体との連携を図る対策機関を設けて、計画的に、定例的に研究、交流、地域づくりに必要な情報収集と提供など有効適切な措置を講ずるべきと考えるが、

### 全町的な取り組みを

町長 総合振興計画のなかで、そのようなことも含めて組織を立ち上げ、全町的な取り組みで、二十一世紀の町の発展に努めたい。

### 地方自治の 原点到って

### 地域づくりを

酒匂議員 地方分権が推進されるなか、国際化、高齢化社会に対応する新たなライフスタイルを確立するなど国民生



地域ぐるみで実施される竹の子堀りツアー（泊野地区）

活全般にわたって転換の必要性が生じてきた。これを実現するため、地方がそれぞれの特殊性、多様性を認みながら、自己責任、自己決定、地方分権制度が目指す、本来の地方自治の原点到った地域づくりの推進方策は、

### 地域づくりが 自治の原点

町長 地方分権一括法が施行され、中央集権的な行政からそれぞれの自治体特性を活かし、個性あるまちづくりが可能となる一方、独自施策の形成能力が求められる。分権社会における地域づくりも、住民が主体的に参加し、積極的に役割を担うことも求められる。地方の活力が町の発展に資する観点から、地域の有する特性を活かしつつ、創意に富んだ主体的活動を支援する地域づくりが地方自治、まちづくりの原点である。社会構造の変化に十分対応できる地域づくりを、町民と行政が一体となり取り組んでいきたい。